

初めてワンちゃんを飼う方、そうでない方も新たなワンちゃんを迎えるときはドキドキ、ワクワクする反面、不安や疑問もあると思います。この記事では、迎える前の注意点、迎えてから最初の1週間の過ごし方をご紹介します。

子犬を迎える前に…

・環境を整える



子犬はいろいろな物に興味津々！なんでも口にしてしまうので、ワンちゃんが自由に動けるスペースには物を置かないようにしておく必要があります。

ケージ、サークル、トイレなどをワンちゃんに必要な物は事前に準備しておきましょう。ワンちゃんとの生活を迎える前にシミュレーションしておきましょう。

・動物病院を探しておく

環境の変化に体調を崩してしまう子も少なくありません。急な体調変化に焦らないように事前に動物病院を探しておきましょう。また、診察時間、休診日なども確認しておきましょう。

・お迎えは午前中に

何か心配事があったとき、万が一体調に変化があったときに動物病院に行けるよう午前中にお迎えすると安心です。朝にお迎えして1日子犬の体調をゆっくり観察してあげましょう。

子犬を迎えた最初の1週間…

環境に慣れることを優先する

初日から構いすぎないようにしましょう。まずは、環境に慣らしてあげることが最優先してあげましょう。

ふれあう程度の時間を5分～10分作り、その他の時間はケージの中で過させてあげましょう。疲れて体調を崩してしまう子がいるので、初日から構いすぎるのは要注意です。徐々に遊ぶ時間を増やして行ってあげましょう。



ワンポイントアドバイス

4 か月齢くらいまでの睡眠時間は18時間～20時間！
寝る子は育つ！睡眠時間をしっかり確保してあげましょう！

元気、食欲、排便を要チェックする

食欲のチェックポイント

初日は不安や緊張でご飯が食べられない子がいます。無理に食べさせず見守りましょう。手で食べさせたりして甘やかさないようにしましょう。ただ、子犬は食事を食べないと低血糖になりやすいです。2日目、3日目も食べないようならペットショップや動物病院に相談しましょう。

排便のチェックポイント

排便回数、便の状態をチェックします。環境の変化でお腹を壊したり、寄生虫によって下痢をしたりします。便に変化が見られたら動物病院を受診しましょう。

トイレのしつけは初日から！

トイレに連れて行くスタイルのしつけがおすすめです。

→サークルの中でトイレを子犬に任せるのは失敗が多いです。

ペットシートを敷き詰めたトイレサークルを準備し2時間おきに連れて行く

→ 少し遊ぶ → ケージに戻す

サイクルを作ることによって排泄をコントロールすることができるようになります。

飼い始めは寂しくて鳴いてしまうもの

子犬を迎えて数日～数週間は寂しさから夜泣きが続くことがあります。基本的には諦めるまで無視しましょう。予防策としては小さい明りをつけておく、テレビをつける、音が鳴るものを置く(時計など)があります。

動物病院へ行くのはお家に慣れてから

特に体調に問題がない場合は、迎え入れて 1 週間経ってお家に慣れてから受診しましょう。

健康診断、ワクチン、フィラリア、ノミダニ予防などを行います。健康診断の中には糞便検査があります。受診の際に便を持参すると検査がスムーズです。